

# 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

今年度も昨年度から引き続きコロナ禍のため、対面イベントが制限される等、従来と大きく異なる学会運営を余儀なくされた。この困難な状況においても、会長・副会長のリーダーシップの下、理事会、並びに各委員会が知恵を出し合い、学会のアクティビティ向上のための各種の施策を強力に実行した。例えば、企画委員会では、成長が見込めるパワーマグネティクス分野に関する初等的入門講座を開催し、異分野交流を深めると共に、磁気学会のプレゼンス向上に大きく貢献した。総務委員会ではオンラインによる事務局との打ち合わせを毎月開催し、円滑な学会運営に寄与した。広報委員会では、会員向けサービスの一環として、「まぐね」連載講座の一部記事をホームページに掲載し、自由に閲覧可能とした。

学術講演会は昨年と同様にオンライン開催を余儀なくされたが、昨年度の経験を活かし、大きなトラブルもなく成功裏に開催することができた。表彰式もオンラインにて開催し、コロナ禍のため開催延期となっていた令和2年度表彰式と合同で実施した。また、コロナ禍のため延期となった Joint IcAUMS-ISAMMA2020 については、国際委員会と実行委員が連携して検討を進め、IcAUMS2024 として沖縄にて開催することとなった。

財政健全化についても、財務委員会のアドバイスの下、副会長（運営戦略担当）を中心とした広告タスクフォース活動、理事会や各委員会並びに各研究会のオンライン化の継続、新たな講習会の実施等により、昨年度と同様に赤字幅を削減した予算状態を達成できた。

## I 事業の状況

### 1. 研究発表会、講演会等の開催（定款4条1号）

#### 1. 1 学術講演会及びシンポジウム

本年度もコロナ禍のために第45回学術講演会はオンライン形式で開催した。

##### ◎第45回学術講演会

期日：	令和3年8月31日（火）～9月2日（木）
会場：	オンライン開催（Zoom）
実行委員長：	近藤剛（キオクシア）
講演件数：	197件
セッション数：	37
参加者数：	377名

##### ※シンポジウム一覧

- 1) “New trends in magnetic field application” 参加者：25名
- 2) “Prospects for ultra-sensitive magnetic sensor devices with sub-pico-tesla

- detectivity” 参加者：70名
- 3) “Recent progress of relationship between magnetism and light” 参加者：51名
- 4) “Medical applied research of Biomagnetic” 参加者：40名

## 1. 2 研究会

第232回から第236回までの5回の研究会を、下記の通り企画・オンライン開催した。  
※第232回研究会は昨年度開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度に延期開催した。

- 1) 第232回研究会報告/第57回強磁場応用専門研究会  
「磁場の時空間制御と弱磁性物質への応用」  
期日：令和3年5月12日（金）  
会場：オンライン開催（Webex）  
参加者：21名
- 2) 第233回研究会/第92回ナノマグネティクス専門研究会  
「磁気記録技術の最近の研究動向」  
期日：令和3年10月26日（火）  
会場：オンライン開催（Zoom）  
参加者：44名
- 3) 第234回研究会  
「医療分野での磁気関連技術の新展開」  
期日：令和3年11月22日（月）  
会場：オンライン開催（Zoom）  
参加者：38名
- 4) 第235回研究会/第82回スピントロニクス専門研究会  
「磁性材料の分析評価技術の進展」  
期日：令和4年1月19日（水）  
会場：オンライン開催（Zoom）  
参加者：29名
- 5) 第236回研究会/第69回化合物新磁性専門研究会  
「新しい磁性研究のための量子ビームと計算科学の連携利用」  
期日：令和4年2月9日（水）  
会場：オンライン開催（Zoom）  
参加者：22名

## 1. 3 講習会、公開講座

初等磁気工学講座およびサマースクールを、下記の通りオンライン開催した。また今年度新設のMSJ講習会もオンライン開催した。公開講演会については、開催を先送りすることとなった。

◎第26回初等磁気工学講座

期日：令和3年6月8日(火)

会場：オンライン開催 (Zoom)

参加者：33名

◎第44回サマースクール

期日：令和3年6月9日(水)～6月11日(金)

会場：オンライン開催 (Zoom)

参加者：43名

※公益財団法人加藤科学振興会 令和3年度研究集会助成金を受けて実施

◎MSJ講習会 「パワーマグネティクスの基礎と応用」

期日：令和4年1月11日(火)

会場：オンライン開催 (Zoom)

参加者：65名

◎第28回公開講演会「磁石の不思議な世界－聞いて、さわって、体験しよう－」

公開講演会の開催準備を進めていたが(開催日程：2022年3月、会場：千葉工業大学)、開催地を含む首都圏がコロナ禍によるまん延防止等重点措置の対象地域となったため、本年度は実施を見送った。

## 1. 4 専門研究会

本年度はナノマグネティクス専門研究会、スピントロニクス専門研究会、化合物新磁性材料専門研究会、強磁場応用専門研究会、光機能磁性デバイス・材料専門研究会、エネルギーマグネティクス専門研究会、バイオマグネティクス専門研究会、磁気センサ専門研究会を下記の通り開催した。

1) ナノマグネティクス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第92回	令和3年10月8日	オンライン開催	44名
第93回	令和3年10月26日	オンライン開催	40名

2) スピントロニクス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第78回	令和3年4月6日	オンライン開催	67名
第79回	令和3年7月27日	オンライン開催	42名
第80回	令和3年9月30日	オンライン開催	40名

第 81 回	令和 3 年 11 月 19 日	オンライン開催	72 名
第 82 回	令和 4 年 1 月 19 日	オンライン開催	29 名
第 83 回	令和 4 年 3 月 30 日	オンライン開催	42 名

3) 化合物新磁性材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 69 回	令 4 年 2 月 9 日	オンライン開催	22 名

4) 強磁場応用専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 57 回	令和 3 年 5 月 12 日	オンライン開催	21 名
第 58 回	令和 3 年 8 月 31 日	オンライン開催	25 名
第 59 回	令和 3 年 12 月 9 日	オンライン開催	20 名
第 60 回	令和 4 年 2 月 22 日	オンライン開催	21 名
第 61 回	令和 4 年 3 月 7 日	オンライン開催	16 名

5) 光機能磁性デバイス・材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 44 回	令和 3 年 8 月 31 日	オンライン開催	51 名
第 45 回	令和 4 年 1 月 17 日	オンライン開催	48 名

6) エネルギーマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 14 回	令和 3 年 6 月 2 日	オンライン開催	132 名

7) バイオマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 7 回	令和 3 年 9 月 1 日	オンライン開催	40 名

8) 磁気センサ専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 5 回	令和 3 年 9 月 2 日	オンライン開催	70 名

## 1. 5 国際会議の主催、共催

本年度は、下記の国際会議を協賛した。

1) International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2021 (ISOM'21)

神戸商工会議所会館 (オンライン併用)

ISOM'21 組織委員会

令和 3 年 10 月 3 日 (日)~6 日(水)

2) 13th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices, Online (ALC'21 Online)

オンライン開催  
公益社団法人日本表面真空学会  
令和3年10月19日(火)～20日(水)

1. 6 国際会議の準備

前年度から引き続き、下記の国際会議の準備を進めた。

◎Joint IcAUMS-ISAMMA2020 (沖縄コンベンションセンター)

※実行委員会を中心に開催に関する検討を進め、2024年IcAUMS2024として沖縄にて開催することとした。

◎INTERMAG 2023 (仙台国際センター) 令和5年5月15～19日

※実行委員会(2021年12月15日、2022年4月21日)に参加し、会議開催準備金等、開催に向けて現地実行委員会と連携して必要な検討を進めた。

1. 7 AUMS (Asian Union of Magnetism Societies)との連携

コロナ禍のため延期となったJoint IcAUMS-ISAMMA2020について、国際委員会が窓口となってAUMS Council memberと今後の対応について検討を進めた。合計4回のAUMS Council meetingをオンラインで開催し、コロナ禍におけるIcAUMSの開催について実施の可能性も含めて様々な検討を行った。令和4年1月からProf. Shao-Xiong Zhou(中国)がAUMS Presidentとなり、新体制が発足した。

◎第26回 AUMS Council meeting (令和3年8月16日オンライン開催)

MSJ選出のAUMS Council memberについて、高梨先生から中川前会長へ、中野前国際理事から菊池新国際理事への変更を提案し、承認された。

◎第27回 AUMS Council meeting (令和3年10月25日オンライン開催)

MSJからIcAUMS2024の開催時期について提案し承認された。

◎第28回 AUMS Council meeting(令和3年12月27日オンライン開催)

IcAUMS2022開催について検討がなされた。

◎第29回 AUMS Council meeting (令和4年2月21日オンライン開催)

沖縄開催のIcAUMS2024について、会場、開催期間が確定し、施設の予約が行われたことを報告した。

## 2. 学会誌の刊行（定款4条2号）

Journal of the Magnetics Society of Japan (JMSJ) を45巻3号より46巻2号まで計6回、日本磁気学会論文特集号を5巻1号より5巻2号まで計2回、また会報「まぐね」を16巻2号より17巻1号の計6回発行した。「JMSJ」は論文に特化し、英文論文を掲載した。「日本磁気学会論文特集号」は学術講演会での講演に基づいた論文で、和文、英文によらない論文を掲載した。また学生の研究と論文投稿を奨励するため、これら論文誌の各号毎にMSJ論文奨励賞授賞の選考を行った。「まぐね」は論説、解説、特集記事、連載講座など寄稿記事を中心に編集した。

### 2. 1 学会誌 Journal of the Magnetics Society of Japan

巻—号	発行年月日	内容（詳細は各号の目次参照）
45-3	令和3年5月1日	論文5件、総ページ数 25
45-4	令和3年7月1日	論文7件、総ページ数 43
45-5	令和3年9月1日	論文3件、総ページ数 18
45-6	令和3年11月1日	論文2件、総ページ数 13
46-1	令和4年1月1日	論文4件、総ページ数 21
46-2	令和4年3月1日	論文3件、総ページ数 27

※印刷冊子ではなく、Web掲載とし、12月に1巻分をまとめたCDを配布。

### 2. 2 日本磁気学会論文特集号

#### Transaction of the Magnetics Society of Japan -Special Issues-

巻—号	発行年月日	内容（詳細は各号の目次参照）
5-1	令和3年5月1日	論文10件、総ページ数 54
5-2	令和3年9月1日	論文2件、総ページ数 12

※印刷冊子ではなく、Web掲載とし、12月に1巻分をまとめたCDを配布。

### 2. 3 MSJ論文奨励賞の授与

掲載論文発行月	掲載誌、受賞部門、受賞者所属および氏名
令和3年5月	Journal of the Magnetics Society of Japan Vol.45, No.3 <博士課程の部> 東北大学 羽根 吉紀 様  <修士課程の部> 東北学院大学 神林 守人 様 福島大学 高橋 優太 様  日本磁気学会論文特集号 第5巻1号 <修士課程の部> 山形大学 梅津 勝平 様

	岡山大学 齊藤 大介 様 東北大学 永井 歩美 様 東北大学 細野 雄也 様 東北大学 村田 啓太 様
令和3年7月	Journal of the Magnetism Society of Japan Vol.45, No.4 <博士課程の部> 東北大学 羽根 吉紀 様 京都大学 小林 裕太 様
令和3年9月	日本磁気学会論文特集号 第5巻 2号 <修士課程の部> 東北大学 宮崎 大輝 様
令和3年11月	Journal of the Magnetism Society of Japan Vol.45, No.6 <学部等学生の部> 横浜国立大学 中村 優太 様
令和4年1月	Journal of the Magnetism Society of Japan Vol.46, No.1 <博士課程の部> 東北大学 伊藤 亘輝 様
令和4年3月	Journal of the Magnetism Society of Japan Vol.46, No.2 <修士課程の部> 横浜国立大学 野口 翔矢 様

## 2. 4 学会報「まぐね」

巻—号	発行年月日	内容(詳細は各号の目次参照)
16-2	令和3年4月1日	論説「企業研究者/技術者として「磁気」と携わって」(田邊信二) 特集「スピンを意識した材料の設計・合成・機能 化学者の観点から」 トピックス 4件 総ページ数 44
16-3	令和3年6月1日	論説「コロナ禍で思ったこと」(宮崎照宣) 特集「高周波電磁ノイズ対策用磁気技術の最前線」 解説 2件、トピックス 3件 総ページ数 42
16-4	令和3年8月1日	論説「マルチスケールで見る研究と社会」(田中陽一郎) 特集「磁気浮上技術の応用事例」 解説 1件、トピックス 4件 初等連載講座 1件 総ページ数 58
16-5	令和3年10月1日	論説「“Inner voice” に応えよう」(與田博明) 特集「機能性ホイスラー合金の材料研究の最前線」 解説 1件、トピックス 4件

		初等連載講座 1 件総ページ数 48
16-6	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年度 日本磁気学会授賞 論説「日本磁気学会入会からの楽しい冒険」(園部義明) 特集「スピントロニクスと熱電現象」 解説 2 件、トピックス 3 件 総ページ数 62
17-1	令和 4 年 2 月 1 日	論説「社会変革の狭間で」(松沼 悟) 特集「希磁性体を含むヘテロ構造の最近の進展」 解説 1 件、トピックス 4 件 初等連載講座 1 件 総ページ数 62

副会長(運営戦略担当)中心の広告タスクフォースとともに、広告代理店と密接に協力して学会報まぐねへの広告投稿勧誘を積極的に継続実施した。広告出稿企業のすそ野を広げることができ、まぐねの魅力向上につながった。

### 3. 研究および調査の実施(定款4条3号)

#### 3. 1 技術情報サービス等による情報提供

磁気の学理および応用に関する研究領域における最先端情報の調査をすすめ、技術情報サービス(No.186~195)やメールマガジン(No.278~305)により会員へ情報提供を行ったほか、Facebookによる情報発信サービスを行った。また、会員向けサービスの一環として、「まぐね」連載講座の一部記事をホームページに掲載し、閲覧可能とした。今後も順次掲載記事を増やすことで、磁気関連分野への関心を高めるとともに、会員サービスの拡充を図るとの方針を定めた。

#### 3. 2 磁気研究の活性化に資する広報活動の強化

Facebookの活用を通じた戦略的な勧誘活動を通じて閲覧数を増やす方策を検討し、記事の定期的更新とともに、各研究会の紹介や報告概要の掲載、各種受賞者の紹介などコンテンツの充実を図った。

#### 3. 3 ホームページの管理および安定運用

ホームページにおける記載内容の不備を適宜修正するとともに、セキュリティレベルを維持するために、定期的にホームページのテーマセット及びプラグインのアップデートを随時実施した。



#### 4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条4号）

令和3年度学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞、学生講演賞、出版賞、新技術・新製品賞、および学会活動貢献賞の表彰を、下記の通り行った。また、学会賞および業績賞受賞者に対しては、その功績を称えMSJフェロー称号の授与を行った。なお、令和3年度は学術講演会がオンライン開催となったため、表彰式もオンラインにて開催し、コロナ禍のため開催延期となっていた令和2年度表彰式と合同で実施した。

学会賞、業績賞、優秀研究賞については杉本諭委員長・齋藤秀和副委員長、論文賞、学術奨励賞、出版賞については小野輝男委員長、学生講演賞、新技術・新製品賞、技術功労賞、学会活動貢献賞については湯浅裕美委員長、の体制でそれぞれ選考を担当した。

##### ◎学会賞・フェロー

- ・中川 活二 氏（日本大学）  
「光磁気記録に関する基礎および応用研究」

##### ◎業績賞・フェロー

- ・小野 輝男 氏（京都大学）  
「磁性ナノ構造におけるスピン物性の研究」
- ・高橋 有紀子 氏（物質・材料研究機構）  
「高機能磁性薄膜のナノ組織制御に関する研究」

##### ◎優秀研究賞

- ・中村 哲也 氏（東北大学）  
「放射光による高性能永久磁石材料の保磁力機構に関する研究」
- ・野崎 隆行 氏（産業技術総合研究所）  
「電圧による高速スピン制御技術の開拓」

##### ◎論文賞

- ・ M. Ishibashi, Y. Shiota, S. Funada, T. Moriyama, and T. Ono  
「 Spin Wave Resonance in Perpendicularly Magnetized Synthetic Antiferromagnets」  
J. Magn. Soc. Jpn., **45**, pp.25-29 (2021).
- ・ Y. Hane, K. Sugahara, and K. Nakamura  
「A Novel Reluctance Network Model Applicable for Open Magnetic Circuit」  
J. Magn. Soc. Jpn., **45**, pp.112-117 (2021).

### ◎学術奨励賞（内山賞）

- ・ 洪 鈺珉 氏（京都大学）  
「Low Current Driven Vertical Domain Wall Motion Memory with an Artificial Ferromagnet」  
J. Magn. Soc. Jpn., **45**, pp.6-11 (2021).
- ・ 村田 啓太 氏（東北大学）  
「アモルファス Fe-B 軟磁性微粒子の静的・動的磁気特性」  
日本磁気学会論文特集号 **5**, 1-5 (2021).
- ・ 神林 守人 氏（東北学院大学）  
「Structure and Magnetic Properties of Sm(Fe<sub>0.8</sub>Co<sub>0.2</sub>)<sub>12</sub> Thin Films by Adding Light Elements」  
J. Magn. Soc. Jpn., **45**, 66-69 (2021).
- ・ 根津 昇輝 氏（横浜国立大学）  
「多磁区状態の強磁性薄膜におけるスピン波伝播の外部磁場依存性」  
日本磁気学会論文特集号 **5**, 6-9 (2021).
- ・ 梅津 勝平 氏（山形大学）  
「フィゾー光干渉法による磁歪測定装置の作製」  
日本磁気学会論文特集号 **5**, 16-21 (2021).
- ・ 小林 千絵 氏（日立製作所）  
「三相ハイブリッド鉄心構造の磁束密度分布に関する検討」  
日本磁気学会論文特集号 **5**, 32-36 (2021).

### ◎学生講演賞（櫻井講演賞）

- ・ 増田 啓人 氏（東北大学）  
「Cu 基非平衡合金における巨大スピンホール効果」  
講演番号：第 44 回学術講演会 17aA-9
- ・ 榊原 有理 氏（慶応義塾大学）  
「熱励起スピン流を用いた  $D_y$  のスピンホール電圧測定」  
講演番号：第 44 回学術講演会 14aA-9
- ・ 佐野 友輝 氏（東北大学）  
「磁気トルクによる磁石振動を用いた触覚提示手法の検討」  
講演番号：第 44 回学術講演会 14pC-9
- ・ 石田 竜太 氏（東北大学）  
「伝送線路中の高周波電流可視化に関する研究」

講演番号：第 44 回学術講演会 14pD-4

- ・趙 望臻 氏 (名古屋大学)  
「[CoPd/Pd]/[Co/Pd]ハイブリッドメモリ層の熱アシスト STT 磁化反転」  
講演番号：第 44 回学術講演会 15pC-7
- ・今 裕史 氏 (秋田大学)  
「交番磁気力顕微鏡を用いた磁気記録ヘッドの高空間分解能・磁場エネルギーイメージング -直流磁場と交流磁場の交差エネルギーによる信号強度の増大-」  
講演番号：第 44 回学術講演会 15pD-2
- ・小野田 浩成 氏 (筑波大学)  
「異なる磁気異方性主軸をもつ 2 層膜界面におけるねじれたスピン構造」  
講演番号：第 44 回学術講演会 17pB-2
- ・野村 英志 氏 (岩手大学)  
「偏極中性子小角散乱による中空 Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub> 粒子の磁化解析」  
講演番号：第 44 回学術講演会 17pB-15

#### ◎出版賞

- ・早乙女 英夫 氏、細谷 達也 氏、松木 英敏 氏、田倉 哲也 氏、佐藤 文博 氏、一ノ倉 理 氏、中村 健二 氏、田島 克文 氏、福岡 克弘 氏、小坂 大吾 氏  
書籍名/出版社：「パワーマグネティクスのための応用電磁気学」(共立出版)
- ・赤城 文子 氏  
書籍名/出版社：「モーター設計のための磁性材料技術」(科学情報出版)

#### ◎新技術・新製品賞

- ・本年度の該当なし

#### ◎技術功労賞

- ・本年度の該当なし

#### ◎学会活動貢献賞

- ・谷山 智康 氏 (名古屋大学)  
「編集委員会活動を通じた学会の活性化への貢献」
- ・首藤 浩文 氏 (物質・材料機構)、近松 彰 氏 (東京大学)  
「企画委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」

## 5. 内外の関連学協会との連絡及び協力（定款4条5号）

下記の会合を協賛した。

- 1) 第37回希土類討論会  
主催：日本希土類学会  
オンライン開催  
令和3年5月19日(水)～20日(木)
- 2) ナノ学会第19回大会  
主催：ナノ学会  
オンライン開催  
令和3年5月20日(木)～22日(土)
- 3) 2021年度時計学会夏季研究会  
主催：(一社)日本時計学会  
オンライン開催  
令和3年7月2日(金)
- 4) 令和3年度 JPARC MLF 産業利用報告会  
主催：(一財)総合科学研究機構 中性子科学センター  
オンライン開催  
令和3年7月15日(木)～16日(金)
- 5) 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2021（第15回）  
主催：NPO 法人 natural science  
東北大学川内北キャンパス (or オンライン)  
令和3年7月18日(日)
- 6) 第31回 RCJ 信頼性シンポジウム  
主催：日本電子部品信頼性センター  
日本教育会館  
令和3年10月21日(木)～22日(金)
- 7) 第50回結晶成長国内会議（JCCG-50）  
主催：日本結晶成長学会  
オンライン開催  
令和3年10月27日(水)～19日(金)
- 8) 日本希土類学会第39回講演会  
主催：日本希土類学会  
崎陽軒本店6階会議室  
令和3年11月10日(水)
- 9) 第64回自動制御連合講演会  
主催：(一社)システム制御情報学会  
オンライン開催  
令和3年11月13日(土)～14日(日)
- 10) MagHEM・ESICMM 合同成果報告会

主催：物質・材料研究機構 磁性材料研究拠点  
東京大学伊藤謝恩ホール

令和3年12月1日(水)

1 1) 第30回 MAGDA コンファレンス in 広島

主催：MAGDA2021 実行委員会  
オンライン開催

令和3年12月6日(月)～7日(火)

1 2) 2021年度磁性流体連合講演会

主催：磁性流体研究連絡会  
オンライン開催

令和3年12月9日(木)～10日(金)

1 3) IIP2022 情報・知能・精密機器部門 (IIP 部門) 講演会

主催：一般社団法人日本機械学会  
オンライン開催

令和4年3月7日(月)～8日(火)

1 4) 2021年度量子ビームサイエンスフェスタ

主催：高エネルギー加速器研究機構 他  
オンライン開催

令和4年3月7日(月)～9日(水)

## Ⅱ 処務の概要

### 1 会議

令和3年4月1日から令和4年3月31日の間に下記の会議を開催した。

#### 1) 総会

本年度は令和3年6月17日に通常総会を行い、令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告、令和3年度事業計画、名誉会員の推薦、令和3および4年度役員員の推薦についての議案が審議され、原案通り可決された。なお、令和3年度収支予算については、収支予算書に記載不備があったため、後日（令和3年7月29日）臨時総会を開催し、審議の上、可決された。

#### 2) 顧問会

本年度はコロナ禍のため、顧問会の開催を見送った。

#### 3) 理事会（コロナ禍のため、オンライン会議で実施）

下記期日に開催した。

令和3年6月17日、令和3年7月29日、令和3年9月24日、  
令和3年12月2日、令和3年2月24日

#### 4) 諸委員会（コロナ禍のため、オンライン会議やメール審議を含む）

総務委員会 2回、事務局－総務合同会議 18回、財務委員会 2回、  
企画委員会 7回、編集委員会 6回、広報委員会 2回、  
AUMS Council meeting 4回  
学会賞、業績賞、優秀研究賞選考委員会 1回  
論文賞、学術奨励賞（内山賞）選考委員会 1回  
新技術・新製品賞、技術功労賞、学会活動貢献賞選考委員会 1回  
学生講演賞選考委員会 1回  
出版賞選考委員会 1回

#### 5) その他

昨年度に引き続き本年度もコロナ禍のため、名誉会員懇談会および賛助会員懇談会の開催を見送った。同様に賛助会員訪問活動も休止したが、来年度以降、コロナ状況が改善されれば、賛助会員の貢献に対する本学会の謝意を表す活動として再開実施する。また賛助会員と会員をつなぐ活動の一助として、学会報まぐねの「新技術・新製品」コーナーへの投稿呼びかけも継続する。

コロナ禍のため各種会議や講演会等をオンライン実施したことや、企画委員会中心に新規講習会を企画・開催する等、収益に寄与する諸施策を実施いただき令和2年度決算でも、引き続き赤字幅を削減した予算状態継続を達成できた。今後、引き続き突発的なコロナ禍による大幅な事業形態変更のリスクも想定される。財務状況の推移を注視すると共に、支出の削減と収入増の方策を継続検討する。

## 2 契約に関する事項

### ◎契約案件一覧

契約年月日	相手方	契約の内容	期間
令和 3 年 3 月 26 日	韓国磁気学会	相互協力に関する合意	5 年※
令和 4 年 4 月 1 日	学術著作権協会	複写に関わる権利委託	5 年※
平成 29 年 12 月 2 日	台湾磁気技術協会	相互協力に関する合意	5 年※
令和 4 年 4 月 1 日	学術情報学研究所	電子図書館サービス	1 年※
令和 3 年 8 月 1 日	文野公認会計士事務所	決算の監査	1 年
令和 4 年 4 月 1 日	Mr. Michael Gallagher	日本磁気学会誌英文、リライト	1 年※
令和 3 年 5 月 12 日	(株)科学技術社	学会誌の広告に関する代理業務	1 年
令和 3 年 12 月 10 日	(株)国際文献社	日本磁気学会報印刷	1 年※
令和 4 年 3 月 12 日	東京書庫(株)	文書の保管および運搬	1 年※
令和 3 年 11 月 30 日	三菱地所リアル エステートサービス	東京 YWCA 会館 事務所の賃貸権	2 年※
令和 2 年 1 月 31 日	IEEE Magnetics Society	Sister Society Agreement	3 年

※は自動更新の契約

## 3 会員の異動状況

会員種別	員 数		
	本年度末現在 (令和 4 年 2 月 2 4 日現在)	前年度末現在 (令和 3 年 3 月 3 1 日現在)	増減
正会員	1, 1 2 3	1, 1 4 0	- 1 7
賛助会員	6 4	6 5	- 1
学生会員	3 0 9	3 0 5	4
名誉会員	4 4	4 7	- 3

## 4 事業報告の内容を補足する重要な事項

令和 3 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。